学校番号	1006

令和８年度　国際教養科

教科	国際教養	科目	日本語読解Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

普段の学校生活の中で「読む、聞く、話す、書く」の四技能を身につけるように努力し、母語だけではなく積極的に日本語を使うことが日本語のコミュニケーション力の向上に一番の近道だと考えます。また、日本語能力試験の意義を理解し、積極的に受験してください。

2　学習の到達目標

日本語を母語としない学習者が、生活言語と学習言語をある程度身につけた段階であることを踏まえ、進学や就職に必要な日本語の運用能力を身につける。
日常生活、日本の文化・社会などに関する文章、論説を読み、問題を解いたり、自分の意見を述べたりするなど、討論や発表などの活動を行い、日本語能力試験各級の認定基準を満たすよう自ら考え、取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本語の語彙、文法項目の理解を深めている。読むこと、書くこと、話すこと、聞くことの４技能を使ってコミュニケーションを取ったり、文を書く際に適切に活用できたりする技能を身につけている。	日本語文法表現の理解を深め既習の文法表現を活用し、文章を書き、発表などの活動を行うことができる。また、リスニング、音読課題にも取り組むことができる。	主体的、自律的に日本語を用いてコミュニケーションを図ることができる。 課題や小テストに積極的に取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
第一学期	日本語	・「読む・書く・話す・聞く」の活動 ・語彙、文法項目の確認	a:語彙、文法などの理解度 b:提出物 c:授業への取り組み姿勢	・小テスト ・中間考査 ・期末考査	・課題プリント ・発表	・提出物 ・学習状況観察
	日本語能力試験対策	・文章構造の理解 ・語彙、文法項目の確認 ・文章の読み書き	a:文法項目の理解 文法や語彙の活用状況 b:課題プリント c:音読や発表など授業への取り組み姿勢。	・小テスト ・中間考査 ・期末考査	・課題プリント ・音読チェック	・提出物 ・学習状況観察
第二学期	日本語能力試験対策	・N1、N2、それぞれのレベルに合った課題を取り組む ・文法や語彙の確認	a:総合的な日本語のスキルを身に着ける b：音読などを通して発表力と日本文化の理解に深める c:授業への取り組み姿勢	・小テスト ・中間考査 ・期末考査	・課題プリント ・音読チェック	・提出物 ・学習状況観察
	新聞を読む	・新聞記事の音読 ・文章の感想や要約	a:学習プリントの取り組み b:語彙や知識の学習状況 c:授業への取り組み姿勢	・小テスト ・中間考査 ・期末考査	・課題プリント ・音読チェック	・提出物 ・学習状況観察
第三学期	読解・意見交換	・文章の音読と理解 ・文章のまとめ ・自分の意見を表現できる	a:学習プリンの取り組み b:自分の考えを表現する c:　授業への取り組み姿勢	・小テスト ・学年末考査	・課題プリント ・音読チェック	・提出物 ・学習状況観察
	討論・日本語力確認	・コミュニケーション活動 ・日本語でプレゼン ・読解力を高める	a:文脈を読み取る力 b:日本語を使って表現する c:授業への取り組み姿勢	・小テスト ・学年末考査	・課題プリント ・音読チェック	・提出物 ・学習状況観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度